

宮城県考古学会連絡紙

第63号

2015年4月29日発行

〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1

東北大学大学院文学研究科考古学研究室気付 宮城県考古学会事務局

2015年度 宮城県考古学会総会

研究発表会「東日本大震災と考古学」

特集「復興関係調査で拓かれた地域の歴史1 古代国家形成期の地域社会—山元町の調査から—」

東日本震災以降かつてない規模で進められている復興関係調査。この成果をもとに、地域の歴史を新たな視点で、より明確に描き出すことが可能となってきました。

これらの成果は、地域力につながる重要な資源であり、今後の復興・再生を考えていく上でも、被災地の歴史を、新たな視点で描き出す試みが、今後必要となるものと思われれます。その1回目として、山元町の発掘調査成果をもとに考えます。

2015年度宮城県考古学会総会、研究発表会は、下記の日程・テーマで開催されますので、皆様ご参集ください。

日時:5月17日(日) 10:00~17:00

会場:松島町文化観光交流館(駐車場に限りがありますので公共交通機関をご利用ください)

参加費:参加費・資料代無料

主催:宮城県考古学会

共催:宮城県教育委員会(予定)、松島町教育委員会(予定)

日程:

【総会】

9:30 受付

10:00~10:50 総会

対象:宮城県考古学会会員

- ①2014年度事業報告
- ②2014年度収支決算報告・監査報告
- ③2015年度事業計画(案)
- ④2015年度収支予算(案)
- ⑤特別委員会設置と冊子の刊行
- ⑥宮城県考古学会細則(改正案)

10:50~11:00 休憩

【研究発表会】

○特集『復興関係調査で拓かれた地域の歴史1

古代国家形成期の地域社会—山元町の調査から—』

(2本、各40分報告)

11:00~11:05 特集 趣旨説明

宮城県考古学会東日本大震災対策特別委員会

11:05~11:45 調査成果報告1「山元町合戦原遺跡の横

穴墓群」 山元町教育委員会

11:45~12:25 調査成果報告2「山元町熊の作遺跡と亶理郡南部の遺跡群」

宮城県教育委員会

12:25~13:25 昼食

13:25~14:05 問題提起「山元町の復興調査成果から古代東北の歴史を考える」

東北学院大学 辻秀人氏

14:05~14:30 意見交換

休憩 (10分)

○研究発表(3本・各25分発表、5分質疑)

14:40~15:10 北小松遺跡における集石遺構の形成について 小野章太郎氏

15:10~15:40 多賀城と城下の井戸について

櫻井友梓氏

15:40~16:10 城柵遺跡における鉄鏃について

渡辺理伊知氏

16:10~16:15 閉会行事

【懇親・交流会】皆様の御参加をお待ちしております。

会場:「海畑」(松島字普賢堂13-11) 開始時間:17:00

会費:4000円(学生3000円)。要申込み・当日申込み可。

〔連絡先〕宮城県考古学会 企画幹事会 福山宗志

※個人情報につき連絡先削除



発掘調査情報

【宮城県教育庁文化財保護課ほかの復興調査】

宮城県文化財保護課では、調査員 30 人体制[県外派遣職員 12 名(山形・新潟・群馬・千葉・長野・岐阜・兵庫・岡山・山口・佐賀・宮崎県、新潟市各 1 名)、宮城県多賀城跡調査研究所 1 名、東北歴史博物館 2 名]で、復興関連他の発掘調査を実施します。この他、石巻市に神戸市、気仙沼市に山梨県、名取市に京都市、山元町に神奈川県・福岡県、筑紫野市・久留米市(両市は 2 ヶ月)から各 1 名の派遣があります。

市町主体県応援の復興調査では、防災集団移転事業に伴う石巻市羽黒下遺跡、土砂採取に伴う山元町犬塚遺跡の本発掘調査が通年で行われ、山元町で土地区画整理事業に伴う合戦原遺跡他の本発掘調査、ほ場整備に伴う北泥沼遺跡など 12 遺跡の試掘・確認調査などが半年以上行われます。集中復興期間の最終年度のため、他の市町でも復興調査が多く行われる予定です。随時、本学会 Web で発掘情報を公開します。

博物館 展覧会・イベント等情報

【東北歴史博物館】

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週月曜日

観覧料金 一般・大学生 800 円、シルバー700 円、高校生 300 円、小中学生 100 円。

★テーマ展示1「修復された被災文化財 色麻古墳群」

3月3日(火)～9月27日(日)

★テーマ展示2「骨角器の世界」

里浜貝塚、田柄貝塚出土の重要文化財を展示。

9月30日(日)～平成27年9月23日(水)

【仙台市地底の森ミュージアム】

企画展「仙台の遺跡 大野田・西多賀あたりの古墳」

4月10日(金)～6月21日(日)

●企画展関連講演会

「大野田・西多賀あたりの古墳について」

日時 平成27年5月23日(土) 13:30～15:30

会場 地底の森ミュージアム 研修室

対象 一般 60 名(応募多数の場合は抽選)

【奥松島縄文村歴史資料館】

毎月、各種イベントが開催される。詳しくは同館 WEB 参照。

【気仙沼市リアス・アーク美術館】

常設展「東日本大震災の記録と津波の災害史」

開館時間 午前9時30分～午後5時(入館は4時30分まで)

休館日 毎週月・火曜日/祝日の翌日(土・日を除く)、

観覧料: 一般 300 円、大学・専門・高校生 200 円、小・中学生 100 円

【岩手県立博物館】

テーマ展「火山灰から社会をよむ—10世紀の巨大噴火と北東北—」

10 世紀前半、2 つの大きな火山噴火が起こりました。青森・秋田県境にある十和田(十和田湖)と、中国・北朝鮮国境に

ある白頭山の噴火です。過去 2000 年間に発生した火山噴火の中で、十和田は国内最大級の、白頭山は世界最大級の規模だったと考えられています。北東北はその影響を続けて受けました。しかし、災害の全貌は未だに不明です。当テーマ展では、北東北3県で実施された発掘調査成果をもとに、2 つの火山噴火痕跡を追うことで噴火前後の集落分布や物質文化の様相を明らかにし、噴火災害に対して人々や社会がどのように行動・変動したのか、その動向を探ります。

会期 9月19日(土)～11月23日(月・祝)

開館時間 9:30～16:30(入館は16:00まで)

休館日 毎週月曜日 月曜日が祝日・休日の場合は次の平日

入館料 一般:310 円、学生 140 円

【秋田県立博物館】

企画展「石斧のある世界」

日本でも最大級の縄文時代の石斧を厳選し、その魅力に迫ります。また、なぜ北日本で巨大な石斧が作られ続けたのかについて考えます。

会期 平成27年4月25日(土)～6月21日(日)

開館時間 9:30～16:30 観覧料金 無料

休館日 毎週月曜日 月曜日が祝日・休日の場合は次の平日

東日本大震災に関わる被災会員への会誌再配布について

本会では、東日本大震災により以前配布された会誌が使用できなくなったという会員の方に対し、必要とされる号の会誌を再配布します。ご希望の方は以下の必要事項を記入し、本会事務局または下記メール宛てにご連絡ください。

①氏名 ②東日本大震災で被災し、会誌の再配布を希望する旨 ③再配布を希望する号数 ④送付先住所 ⑤連絡先電話番号 ⑥希望送付時期

※送料は申し込み者負担で、在庫がある号に限ります。

※メールアドレス: info@m-kouko.net

情報・寄稿などをお寄せ下さい！！

発掘調査、学会、イベントなど考古学に関する情報、提言などをお寄せください。本会連絡紙のほか、Web サイトにて随時情報を掲載いたします。

本会 Web サイト(<http://www.m-kouko.net/>)

<連絡先> 柳澤和明(連絡紙代表幹事)

E-mail: info@m-kouko.net(宮城県考古学会)

会費の納入お願いいたします！！

会費は一般会員が 4,000 円、学生会員が 2,500 円、夫婦会員が 5,000 円です。5 月 17 日の総会・研究発表会当日でもよろしいので、必ず年度当初にお支払ください。[担当]事務局

転居と異動の際は必ず連絡をください

就職や転勤による転居や年度替わりの定期異動の時期です。会員で転居・異動された方は、事務局まで必ず連絡をお願いします。[担当]事務局